

『鹿児島県地震等災害被害予測調査』の概要

1 目的・概要

国の中央防災会議の検討結果及び鹿児島県地域防災計画検討有識者会議の意見等を踏まえ、本県で起こり得る地震及び海底噴火の予測を行い、それらを起因とする地震動・津波・液状化等の災害の規模を明らかにし、ハザードマップを作成するとともに、それらの災害による人・建築物・ライフライン施設等の被害の予測を行い、県地域防災計画に反映させる。

2 調査期間

平成24～25年度

3 調査内容

24年度は、資料の収集・整理・データ化（一部、25年度）を行い、本県で起こり得る災害の規模【地震動・津波（海底噴火による津波を含む）・液状化等】を予測する。

25年度は、24年度に予測した災害による被害【人・建築物・ライフライン施設等】を予測し、今後の防災対策の検討等を行う。

(1) 24年度

資料の収集，整理及びデータ化

- ・ 地盤及び地形に関する資料
- ・ 斜面に関する資料
- ・ 建築物，火災，ライフライン施設，社会資本施設，人口等に関する資料

災害の規模の予測

- ・ 震源（波源）モデルの設定，海底噴火による津波の波源モデルの設定
- ・ 地盤モデル及び地形モデルの構築
- ・ 地震動，津波（津波高，浸水区域，浸水深，到達時間等），液状化危険区域，斜面崩壊危険箇所等の予測

(2) 25年度

被害の予測

- ・ 建築物，火災，ライフライン施設，社会資本施設の被害予測
- ・ 人的な被害予測
- ・ 震災がれき量，孤立化集落，生活支障，社会支障等の予測

今後の防災対策の検討

- ・ 被害シナリオの作成
- ・ 防災対策の課題の検討
- ・ 防災戦略（減災目標）等の策定

4 想定地震（津波）等の設定

別添 1 - 『想定地震（津波）等の設定（鹿児島県地震等災害被害予測調査）』のとおり

調査結果の一部は、市町村が作成する防災マップ及び地域防災計画等の基礎資料として提供（予定）。

調査の基礎となる各種データは、市町村等の関係機関から提供してもらうこととなるが、調査の精度向上には、可能な限り多くのデータ（特にボーリングデータ）が必要。